

2020年5月25日

各位

## 国内最大規模の室蘭バイオマス発電所の商業運転開始について

当社（社長：大田 勝幸）が出資するENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社（社長：青井 伸夫）は、国内最大規模のバイオマス発電所の商業運転を5月24日より開始しましたので、お知らせいたします。

バイオマスとは、動植物から生み出され、エネルギー源として利用できる生物資源の総称で、バイオマスを燃焼またはガス化することで発電するのがバイオマス発電です。有機物を燃料とするバイオマス発電は、燃やすとCO<sub>2</sub>を排出しますが、燃料となるパームヤシは、光合成により空中のCO<sub>2</sub>を取り込んで成長するため、大気中のCO<sub>2</sub>の増加にはつながらないとされています。また、再生可能エネルギーの中でも、燃焼灰を有効利用できることからリサイクルに繋がる発電方法として注目されています。当社としても、再エネ電源の中で供給安定性に優れていることから開発を進めてまいりました。

当社は、メガソーラー（18カ所、約4.6万kW）や風力（2カ所、約0.4万kW）といった再生可能エネルギー発電事業を全国で展開しており、今回商業運転を開始した本発電所は、当社が主体となり運営する初めてのバイオマス発電所となります。木質バイオマスのみを燃料とする発電所としては国内最大規模であり、環境保全に十分に配慮した高効率な運転が可能です。発電した電気は、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を活用し、売電いたします。

また、室蘭市より要請を受け、本日より、日没から24時までの間、本発電所のライトアップを行い、地域社会の発展・活性化に協力してまいります。

当社は、今後も、発電事業を通じてエネルギーの安定供給に取り組むとともに、環境配慮型のエネルギー供給を積極的に推進し、低炭素・循環型社会への形成に貢献してまいります。



## とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<ENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社の概要>

所在地	北海道室蘭市港北町一丁目3番1
代表者	社長 青井 伸夫
資本金	1億円
設立日	2016年10月11日
出資比率	JXTGエネルギー株式会社 90% 日揮ホールディングス株式会社 10%
総敷地面積	約4万㎡

<室蘭バイオマス発電所の概要>

発電容量	7.49万kW
燃料	木質バイオマス専焼（パームヤシ殻）
発電設備	循環流動層ボイラー、再熱式復水タービン

<室蘭バイオマス発電所発電設備>



以上

**JXTGは、社名もENEOSへ!**

※ 2020年6月に開催予定の定時株主総会で定款変更が承認されることを条件に、同日日付で変更いたします。



**とどけ! 熱いエネルギー ENEOS**

JXTG エネルギー株式会社 広報部 広報グループ 〒100-8162 東京都千代田区大手町一丁目1番2号 TEL: 03-6257-7150